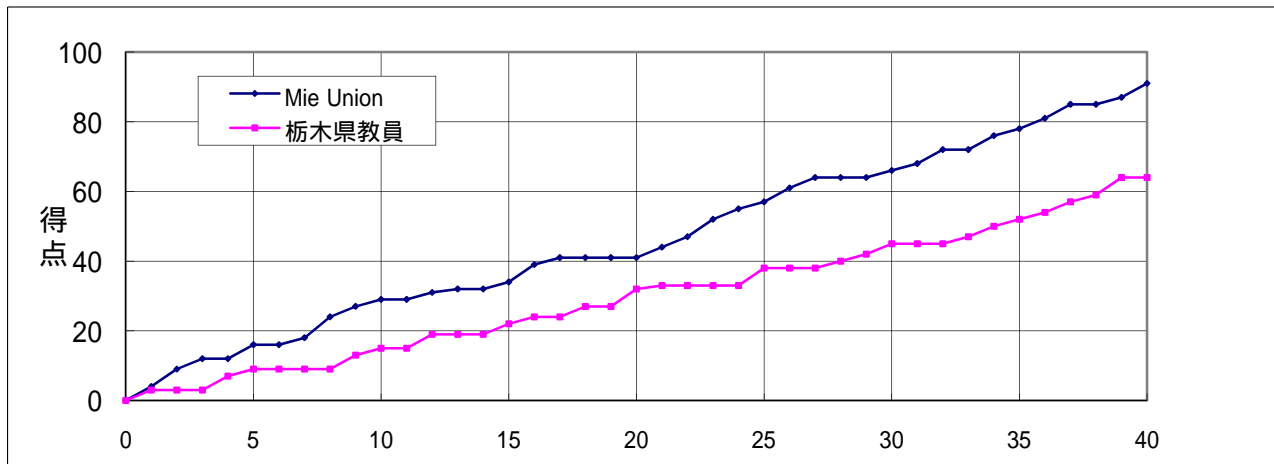


大会名	第48回男子・第40回女子 全日本教員バスケットボール選手権大会 「おいでませ！山口国体バスケットボール競技リハーサル大会」	10C2	11:45	男子2回戦															
	期日	2010年(平成22年)8月10日(火)	Mie Union 91 (三重県)	<table border="1"> <tr><td>29</td><td>-</td><td>15</td></tr> <tr><td>12</td><td>-</td><td>18</td></tr> <tr><td>25</td><td>-</td><td>12</td></tr> <tr><td>25</td><td>-</td><td>19</td></tr> <tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </table>	29	-	15	12	-	18	25	-	12	25	-	19	-	-	-
29	-	15																	
12	-	18																	
25	-	12																	
25	-	19																	
-	-	-																	
会場	ソルトアリーナ防府	主審 岩田友幸 副審 弘中 勤																	



1Q・2Q		3Q・4Q			OT1	OT2
14:02	15:23	-	-	-	-	-

Mie Union									
No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As	
4	* 加藤 雄 (C)	12	4	0	0	2	1	1	
5	山路 喬久	2	0	1	0	1	1	0	
6	佐藤 寛太	0	0	0	0	2	1	0	
7	* 石井 裕範	11	0	4	3	2	5	1	
8	後呂 安雄	10	2	2	0	0	1	0	
9	平戸 佑典	8	0	4	0	1	2	1	
10	目黒 真平	2	0	1	0	1	1	0	
11	岡田 昌利	-	-	-	-	-	-	-	
12	田中 康夫	4	0	2	0	1	2	1	
14	平野 翔平	9	1	3	0	0	0	3	
15	高野 智明	4	0	2	0	2	0	0	
16	* 船津 準平	8	0	4	0	1	2	2	
17	* 岩田 智之	8	2	1	0	2	4	1	
20	盾 昌宗	-	-	-	-	-	-	-	
21	* 山崎 教平	13	0	6	1	1	5	2	
コーチ 高野 智明									
合計		91	9	30	4	16	25	12	

1Q・2Q		3Q・4Q			OT1	OT2
12:38	-	-	-	-	-	-

栃木県教員									
No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As	
4	* 岡 龍哉	20	6	1	0	0	1	0	
5	* 大山 賢史	16	2	3	4	1	3	1	
6	石塚 昌三	2	0	1	0	2	4	0	
7	増山 敬大	-	-	-	-	-	-	-	
8	* 杉森 豪	9	1	3	0	3	0	1	
9	深澤 晋	2	0	1	0	0	2	0	
11	生澤 暢大	9	0	4	1	1	3	0	
13	益子 基久	0	0	0	0	0	1	0	
14	佐藤 俊樹	-	-	-	-	-	-	-	
16	* 薄井 健	2	0	1	0	2	3	0	
17	* 佐藤 崇仁 (C)	4	0	2	0	5	1	1	
コーチ 益子 基久									
合計		64	9	16	5	14	18	3	

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル R...リバウンド As...アシスト

戦 評

両チームとも、マンツーマンディフェンスでスタート。第1Q、三重は高さのある#21のポストプレーを軸に攻撃を組み立て、#16、#17、#7とのコンビネーションプレー、3P、リバウンドの強さで先行する。対する栃木は、スピードのあるドライブを試みるが、三重の堅いディフェンスに阻まれ、なかなかシュートが決まらず、思うように得点できない。三重29 - 栃木15で第1Q終了。第2Q、栃木は三重の#21のポストプレーに対するディフェンスを強め、コンビネーションプレーを阻止し、また攻撃面では#13のポストプレー、ドライブを仕掛けて、点差を縮めようとするも、シュートがなかなか入らない。三重41 - 栃木33で第2Q終了。第3Q、三重はポストプレーに加え、アウトサイドからの攻撃も試み、得点を狙う。さらに#21の3Pや#7のポストプレーを織り交ぜ、栃木のディフェンスに的を絞らせず、第1Qと同様の得点ペースに引き戻す。三重は、#21に替え#14をIN、ミドル、3Pに速攻を加えた攻撃で着実に得点を伸ばす。一方、栃木は3P、ドライブを狙うが、得点ペースが上がらない。第3Q、三重66 - 栃木45で終了。第4Q、三重は#7、#12のインサイドでのコンビネーション、#14のミドル、3Pなどで、安定した得点ペースを維持し、得点差を広げる。栃木も#11、#4のカットインで食い下がるが、終盤も三重にペースを握られる。三重91 - 栃木64で試合終了。三重がフィジカル面、リバウンド奪取力、シュートの正確さで、栃木を上回っていた。

記者	佃 幸憲 (所属) 山口県バスケットボール協会
----	-------------------------